

山口情報芸術センター [YCAM]

やまぐちアートピクニック

2022年11月30日(水)～12月4日(日)

山口市大殿地区各所(合計4箇所)

アートコミュニケーターがつくる、山口市で活躍するアーティストのまちなか展覧会！

山口情報芸術センター [YCAM] では、過去に「やまぐち新進アーティスト大賞」を受賞したアーティストの展覧会「やまぐちアートピクニック」を市内4箇所で開催します。

2008年に創設された「やまぐち新進アーティスト大賞」は、活躍が期待される山口市のアーティストを支援するため山口市が主催する賞で、これまでに、数多くのアーティストが受賞してきました。

本展は、アートや学びに関する人材育成プロジェクト「やまぐちアートコミュニケータープログラム2022：架空の学校『アルスコーレ』」の参加者が主体となって、受賞経験者の作品やその背景を学び、それをもとに企画から実施までをおこなう展覧会で、受賞経験者9名の絵画から立体まで幅広い手法の作品を、山口市内の大殿地区のギャラリーやショップなど4箇所で展示します。このほか、山口のまちで暮らしている参加者ならではの視点で関連イベントなども実施します。

まち歩きを楽しみながら、アートに触れる本展を通じて、新しい街の魅力そして、生活における山口らしいアートの新しいあり方を提案します。ぜひこの機会にご参加ください。



アート作品をたどりながら山口のまちを巡る
YAMAGUCHI ART PICNIC
やまぐちアートピクニック 2022.11.30-12.4



展覧会のメインビジュアル

■ 出展作家(五十音順)

- 臼杵万理実(第6回やまぐち新進アーティスト大賞)
- 小山祐和(第4回やまぐちACS賞)
- 佐伯和章(第3回やまぐちACS賞)
- 鈴木啓二郎(第10回やまぐち新進アーティスト大賞)
- 土谷寛子(第5回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員賞)
- 平川和明(第1回やまぐち新進アーティスト大賞)
- 保手濱拓(第4回やまぐち新進アーティスト大賞)
- 松村憲治(第3回やまぐち新進アーティスト大賞)
- 山口功(第8回やまぐち新進アーティスト大賞)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

[お問い合わせ]

山口情報芸術センター [YCAM] 学芸普及課

〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 メールアドレス: press@ycam.jp ウェブサイト: www.ycam.jp

取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



山口情報芸術センター
Yamaguchi Center for Arts and Media

街に生み出される学びと交流のための時間・空間



「架空の学校『アルスコレ』」のイベントのひとつ「んゼミ vol.2」
(2022年／撮影：塩見浩介)

■ アートでつなぐまちの活性化事業

山口市では「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」を策定し、『まちを、楽しむ。』を全体のテーマに「居心地が良く歩きたくなるまち」「多様な人々の心が弾むまち」を目指し中心市街地の活性化に向けた取組を進めている。

本事業は、「交流と創造による来街機会の創出」を目的とし、YCAMが持つ知見を活用して子どもを核とした来街のきっかけづくりを行い、まちのにぎわい創出等を図ることで、子どもから大人まで楽しめる中心市街地となることを狙いとしている。

YCAMは2003年の開館以来、メディア・テクノロジーを用いた新しい表現と鑑賞者をつなぐため、研究開発プロジェクトや作品制作の過程で得たテクニックや知見、開発したソフトウェア／ハードウェアなどを応用して、教育プログラムを多数開発／実施してきました。また並行して、メディア・テクノロジーが持つ可能性を応用して、山口の地域課題の解決や、地域資源の活用につなげる取り組みも模索しており、特に近年は、こうした取り組みを主体的に推進することができる人材の育成に取り組んでいます。

YCAMでは山口市中心市街地を拠点にアートや学びに関するイベントの企画制作に携わる人材を育成するプログラム「やまぐちアートコミュニケータープログラム」を開始。公募で集まった高校生からシニアまでの幅広い世代のメンバーを対象に、レクチャーやワークショップなどのプログラムを多数実施しています。

2年目となる2022年度は、山口市中心市街地活性化推進室とYCAMが協働して進める「アートでつなぐまちの活性化事業」の一環として、デザイナーの三宅航太郎をプログラム・ディレクターとして迎え、プログラム全体とそれが展開される街を「架空の学校」に見立て、山口市中心市街地において、学びと交流のための時間・空間を新たに創出しようとしています。

今回開催する展覧会「やまぐちアートピクニック」は、そうした取り組みから生み出された展覧会です。

新しい街の魅力そして、生活における山口らしいアートの新しいあり方を提案する



「架空の学校『アルスコーレ』」の参加者によるフィールドワークの様子
(2022年／撮影：谷康弘)

■ やまぐち新進アーティスト大賞

山口市芸術家支援事業として2008年に設けられた賞で、将来の活躍が期待される山口市のアーティストに贈られる。山口市出身の教育者で画家の田口克己（1919年～2006年）からの寄付金を元に創設され、現在までに11回の開催を数える。

今回開催する「やまぐちアートピクニック」は、過去に「**やまぐち新進アーティスト大賞**」を受賞したアーティストの作品を紹介する展覧会です。

2008年の第1回「やまぐち新進アーティスト大賞」の受賞者の家具職人・平川和明から、第10回同賞受賞の現代美術家・鈴木啓二郎まで、合計9名の受賞者が、絵画から立体まで幅広い手法の作品を、山口市内の大殿地区のギャラリーやショップなど4箇所で開催します。

本展は、アートに関心を持つ一般市民から構成される「やまぐちアートコミュニケータープログラム」の参加者（やまぐちアートコミュニケーター）が主体となって、企画から実施までをおこなっている点に特徴があります。やまぐちアートコミュニケーターが受賞経験者の作品やその背景を学び、また一部の展示作品は、山口市中心商店街の空き店舗などアーティストと共同で制作もおこなっています。

こうしたプロセスを背景に、本展では作品を展示し、鑑賞するだけではなく、作品をより多面的に理解するための機会として、作品を深く鑑賞するための「ギャラリーツアー」やアーティストの作品にまつわる話を直接聞く「アーティストトーク」といった関連イベントも実施。大殿地区の街並みや歴史と、現代を生きるアーティストの作品とを結びつけながら、新しい街の魅力そして、生活における山口らしいアートの新しいあり方を発見する機会となるでしょう。

開催概要

やまぐちアートピクニック

2022年11月30日（水）～12月4日（日）

10:00～17:00（LOCUSとAi's Studioは11:00～17:00）※最終日は15:00まで
入場無料

会場：

クリエイティブ・スペース赤れんが（山口市中河原町5-112）ホールⅠ
LOCUS（山口市野田51-1）
Ai's Studio（山口市後河原177まっちゃん2階）
十朋亭維新館 杉私塾（山口市下堅小路112）

参加作家（五十音順）：

臼杵万理実（第6回やまぐち新進アーティスト大賞）
小山祐和（第4回やまぐちACS賞）
佐伯和章（第3回やまぐちACS賞）
鈴木啓二郎（第10回やまぐち新進アーティスト大賞）
土谷寛子（第5回やまぐち新進アーティスト大賞審査委員賞）
平川和明（第1回やまぐち新進アーティスト大賞）
保手濱拓（第4回やまぐち新進アーティスト大賞）
松村憲治（第3回やまぐち新進アーティスト大賞）
山口功（第8回やまぐち新進アーティスト大賞）

関連イベント

ワークショップ

2022年12月3日（土）、4日（日） 各日11:00～12:00
会場：（未定） 参加無料※要申込

ギャラリーツアー

2022年12月3日（土）14:00～15:00
集合場所：クリエイティブ・スペース赤れんが 参加無料※要申込

アーティストトーク

2022年12月4日（日）14:00～15:00
会場：クリエイティブ・スペース赤れんが 参加無料※要申込

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団
後援：山口市教育委員会
企画制作：山口情報芸術センター〔YCAM〕、Twelve Inc.



■ 白杵万理実（うすき・まりみ）

山口市在住。美術作家。

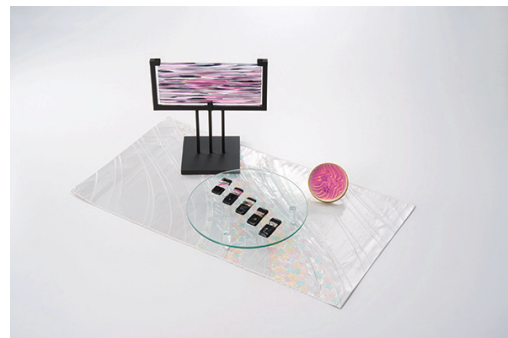
山口市を拠点に作品を制作し、展覧会やイベントで発表して活動している。主に絵画を制作している。ちょっと不思議な少女や動物が登場する作品を多く描いている。



■ 小山祐和（こやま・まさかず）

1963年、岩国市生まれ。20年間の会社員経験の後、サンドブラスト工房「るり・あーと」を小郡に開設。2020年山口特産品産業奨励賞受賞。山口芸術短期大学芸術表現学科非常勤講師。

2005年より、山口発デニムブランド「匠山泊」に参加し、業界初のデニムアート加工商品を制作する。2013年からサンドブラストの技術情報提供を開始し、東京大学・早稲田大学・京都大学・武蔵野美術大学をはじめとする教育機関や大手企業への機器販売と技術提供を行っている。



■ 佐伯和章（さえき・かずあき）

1974年 山口市生まれ

1993年 山口県立西京高校卒業

1997年 九州産業大学芸術学部デザイン科クラフコース卒業

2003年 彫金作家として山口県内を中心に活動開始

2006年 KO silver（中河原町）開設

2009年 KO SILVER（山口駅通り）移転

2011年 やまぐちACS 賞を受賞。

2019年～2022年 山口芸術短期大学非常勤講師

現在、山口駅通りに設けたアクセサリーの制作スタジオ兼ショップ、KO SILVERを拠点に作品制作、山口県内や近県での展示会やワークショップなど活動中。



■ 鈴木啓二郎（すずき・けいじろう）

異分野横断型現代美術作家 / デザイナー / 文化事業者 / コンサルタント

1981年生まれ、愛知県名古屋出身、山口県山口市在住。地域社会や国際社会を視野に入れ、人生観、世界観、異文化間の価値観や視線などに着目し、多様なリサーチや制作手法で、審美観、概念、アートの有用性を掘り下げ、対話や発表を通して共感する機会を生み出しながら、新たな気づきや価値観の変容を探索。国内外での国際展覧会や滞在制作をはじめ、「余暇のすすめ」という教育的プログラムや「ヘルスケアアート」など療養的プログラムに取り組みながら、現代社会の課題や問題解決に向けた提案などに取り組んでいる。

www.keijirosuzuki.com



■ 土谷寛子 (つちや・ひろこ)

2003年渡英 Surrey institute of art and design (現・UCA芸術大学)で1年間美術を学ぶ。帰国後、会社員の傍ら創作活動が続ける。2010年セツモードセミナー 卒業。2011年より山口市へ拠点を移し、2013年第5回やまぐち新進アーティスト大賞審査員賞を受賞。山口県内での個展開催や企画展に参加。

イラストをシルクスクリーン印刷で布へ転写し、刺繍と織り交ぜた作品をはじめ、軽やかなモダンな刺繍絵画の手法を模索しながら作品発表を続けている。



■ 平川和明 (ひらかわ・かずあき)

福岡県出身。2002年より2年間、フィンランドのヘイノラ・インスティテュートで家具づくりの知識と技術、デザインを学ぶ。帰国後、山口県立大学大学院に通いながら岡崎木材工業(株)に勤務し、在学中の2005年にデザインから制作まで一貫した家具制作をおこなうオーダメイドの家具工房を設立。個人住宅、店舗、公共施設等を中心に家具制作活動をおこない、2017年より山口大学教育学部美術教育選修講師に着任。現在山口市の大内地区に工房を構えている。



■ 保手濱拓 (ほてはま・たく)

1980年生まれ。山口市在住。美術家。身近な自然や日常を題材に見えるものを感じることを、絵や木版画、写真、詩などの方法で表現している。県内外での個展を中心に作品の発表を行いながら、挿絵や壁画、滞在制作などアートを紹介したさまざまな活動を行っている。



■ 松村憲治 (まつむら・けんじ)

1974年、防府市出身。家業が創業200年の鋳造業の家系に生まれ、金属は得意な材料の一つです。鋳込み時に出る副産物「湯こぼれ」を使用した作品(受賞作品も含む)のようなアップサイクルアート作品から機能性も兼ね合わせたオブジェ家具などの制作を行ってきました。現在は、建築設計事務所を運営しながらアーティストックかつ、機能性を重視した建築や空間デザインに金属を取り入れることで唯一無二の空間づくりに励んでいます。



■ 山口 功 (やまぐち・いさお)

1982年、東京都生まれ。2006年、東京芸術大学 油画専攻 卒業。

同大学院で2008年に修士課程修了、2012年に博士課程修了。

2009年グリフィス大学（オーストラリア）交換留学。

現代人に特有の身体感覚「殻で自らを守りながら、それでも外部と繋がること」をコンセプトとして作品を制作し、個展やグループ展で発表。また、英語教育にも関わり、英文法を1枚にまとめた学習ポスター「英文法地図」の開発も行う。

